稲沢ロータリークラブ週報

承認日：昭和 38 年(1963 年)12 月 6 日会長：西村郁夫／副会長：樋田克史
例会日：毎週水曜日 12：30～13：30 幹事：酒井兼利/幹事代理：永井伸治
編集：広報会報委員会

例会場：尾張大國霊神社（国府宮） E-mail rcinazawa@gmail.com
稲沢市国府宮一丁目 1 番 1 号 URL http://www.inazawa-rc.org/
事務所：〒492-8213 稲沢市高御堂 1-2-1（林商事ビル 1 階）
電 話：0587-24-0740 FAX：0587-22-7213 事務局携帯電話 090-4853-5262

2014-2015R.I 会長
ｹﾞｲﾘｰ C.K.ﾎｱﾝ

稲沢 RC2014～2015 年度会長方針
「輝いて未来に進ごう」

本日の例会プログラム 第 2495 回例会 11 月 3 日（月祝） 例会場：WFF 会場
ﾜｰﾙﾄﾞﾌｰﾄﾞふれ愛ﾌｪｽﾀ ｼﾞｬﾊﾟﾝﾛｰﾀﾘｰﾃﾞｰ
例会 15:00～16:00 TV 塔北 懇親会 18:00 より ｼｪ・ｼﾊﾞﾀ

第 2494 回例会報告 10 月 29 日(水) 晴れ No.17

☆点 鐘☆	会長 西村郁夫
☆司 会☆	会場委員長 鵜飼博信
☆唱 和☆	四つのテスト
☆ビジター☆	
☆会長挨拶☆	会長 西村郁夫

皆様こんにちは。すっきりとした快晴が続く今日この頃でございます。先だって行われた西尾張分区合同ゴルフ競技大会も晴天で、春日井C.Cにて9クラブ117名余りの参加が有り、我が稲沢R.Cも11名の精鋭が競技をきそいまして、個人3位、団体も3位と言うすばらしい結果でした。ご参加の皆様大変お疲れ様でした。

又、10月19日の秋の家族会には多数のご参加を頂き京都「萬亀楼のお食事と京文化を楽しむ」と言う文字通り大変おいしい料理を楽しみました。特に親睦活動委員長の横井さんには大変お世話になりました。ありがとうございます。そしてこの家族会に都合がつかず参加出来なかった方々には次の春の家族会も横井委員長が今回にもおとらず、楽しい企画を練っていますので、ぜひご参加頂きます用お願い申し上げます。

そして今日の卓話は NPO 法人ﾏﾗｲｶの翼ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ理事長吉田文亮様でございます。【日本の古米を贈るより、新米の作り方を教える】とのﾃｰﾏでお話をして頂きます。吉田様のﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄの事を少し伺いまして、ﾛｰﾀﾘｰの理想を越えるお方と感じました。今日は貴重なるお話しを伺いたいと思いますので後ほどよろしくお願い致します。

◇ ◇ ニ コ ボ ッ ク ス 報 告 ◇ ◇

報告者：ニコボックス委員長 眞下啓二

西村、永井 NPO 法人ﾏﾗｲｶの翼ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ理事長吉田文亮様をお迎えして

原 吉田さんを講師にお迎えして。私の大先生です。

西村 分区ｺﾞﾙﾌ参加の皆様大変お疲れ様でした

横井 秋の家族会へのご参加ありがとうございました

横井 秋の家族会ではたくさんの皆様にお世話になりありがとうございました

横井 西村会長、永井幹事代理、秋の家族会で差し入れありがとうございました

西村 楽しく、おいしい家族会でした。横井親睦活動委員長ご苦労様、又、成田さんお世話になりました。皆様ありがとう

★出席報告★ 報告者：会員組織委員長 樋田文裕

会員総数	55 名	前々回修正	10 月 15 日
出席会員数	38 名（内免除者 9 名）	出席会員数	33 名（内免除者 7 名）
欠席者数	17 名（内免除者 7 名）	ﾒｰｸｱｯﾌﾟ数	5 名
出席率	79.17 %	修正出席率	82.61 %

☆ 例 会 臨 時 変 更 通 知 ☆

クラブ名	月/日(曜日)時間	メークアップ会場
一宮北	12/26(金)	休会（定款 6－1）
名古屋北	12/26(金)	休会（定款 6－1）
尾西	12/29(月)	休会（定款 6－1）
あま	12/29(月)	休会（定款 6－1）

今週のメークアップ	山脇（B.D）、樋田克史（名古屋みなと）樋田文裕、鵜飼博信（D2760）、浅井耕治（名古屋名東）

☆ 例 会 日 程 ☆

11 月 5 日(水)	11 月 12 日(水)12：30	11 月 19 日(水)12：30	11 月 26 日(水)12：30
例会日変更(3 日へ振替)	幸福例会 会員表彰 第 5 回理事会（13：30） IAC 例会（17：00）	卓話：ﾙｼｴﾝ君(青少年奉仕委員会) 渡邉京子会員ｲﾆｼｴｰｼｮﾝｽﾋﾟｰﾁ 例会場：名古屋文理大学文化ﾌｫｰﾗﾑ（稲沢市民会館）3F IAC 例会（17：00）	卓話：R 財団ﾎﾟﾘｵﾌﾟﾗｽ副委員長 佐々木久直 様 ﾃｰﾏ「改革」～新しいﾛｰﾀﾘｰ財団～紹介者:R 財団委員長 川合正剛 例会場：勤労福祉会館 3F

永井 秋の家族会を盛況に開催できありがとうございました。写真を頂いたお礼
服部(孝根) 家族会楽しゅうございました。写真ありがとう
成田 親睦活動委員会の皆様お疲れ様でした
加藤(耐) 家族会楽しかったです
加藤(耐) 横井さん家族会ご苦労様でした。楽しい時間ありがとうございました
岡田 秋の家族会、最高に楽しかったです。横井委員長はじめ皆様ありがとうございました
西村、加藤(耐)、山名、成田、池田、児島、岡田、小島、栗本、横井、三輪、鵜飼(博)、渡邉 写真を頂いて
足立 本校3年生佐藤正尭が日本ﾊﾑﾌｧｲﾀｰｽﾞにﾄﾞﾗﾌﾄ指名された喜び
山脇 周防･長門両国の国府を廻ってきました。夜は獺祭
林 先日は多くの皆さんにお世話になり感謝
伊藤(強) 親睦活動委員ですが家族会に出席出来ず失礼しました
山名 家族会欠席のお詫び。家内がお世話になりました
樋田(ﾋﾀﾞ) ﾎｰﾑｸﾗﾌﾞ及び秋の家族会欠席のお詫び
野々部 秋の家族会欠席のお詫び
野々部 業務多忙早退のお詫び

◇◇卓話：NPO法人ﾏﾗｲｶの翼ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ
理事長　吉田文亮様◇◇
ﾃｰﾏ：「日本の古米を贈るより、新米の作り方を教える」
紹介者：職業奉仕委員長　原武史

稲沢生まれの幼少時太平洋戦争・戦後の飢餓体験から、定年の十数年前、教育支援に踏み出しました。

ジャンボ！（こんにちは）タンザニア連合共和国の孤児達に、義務教育の機会を失わない支援と、小学校に校舎を建設して人的資源の育成の二本柱を目的に、2006年当法人を設立しました。

～タンザニアとは～

アフリカ東部･赤道南の動物王国で、人口約4,000万人、北にビクトリア湖、キリマンジャロ山を有する国土は日本の2.5倍、40%の野生動物保護区が全国に分布しています。都市部の裕福層は、ミネラルウォーターを飲んで文化的な生活をしていますが、地方は電気水道も無い地域が多く、子供達が遠くまで水たまりの水を汲みに行き、草葺き・土レンガの家がまだ多く点在しており、風土病等で若年死亡率が高く、平均寿命は53歳（06年は45.24歳））で孤児が多い国です。

バス停や商店がある所では、昼間から大勢の若者がたむろしており、どう生計をたてているのか不思議な光景です。国民性はポレポレ（ゆっくり）精神といわれ、グリーンバナナを蒸したものやトウモロコシの粉で作るウガリが主食で、豆、鶏肉などを食しています。

同国は130の部族が独自の民族語で暮らします。
標準語はスワヒリ語で、マライカ（ 天使 ）の背中の「教育と言う羽」を「自由に羽ばたける翼にする」支援を目的に、会の名にしました。

交通手段は徒歩、自転車、バイク、バスと収入状況で違いますが、日中や深夜真っ暗な原野の道を歩く人々と沢山行き交います。小学校への通学にライオンやチーター等の肉食獣がいる地域でも、人家の無い道を片道10kmを歩く生徒もおり、怖い思いをする事もあると聞きます。

～教育支援贈呈式始める～

当法人との提携の為現地にNGOが設立され、07年12月ダルエスサラームから長距離バスで1000km西のキエラ村へ15時間の行程や、北部のマリャ村に学用品・衣類を送り届け、教育支援をスタートしました。
09年の贈呈式で、現地NGOから支援品も嬉しいが、地方では小学校7年を卒業しても、大きな街にしかない中学校（下宿が必要）へ費用が無く、進学できない90%以上の孤児達の自立の為、職業訓練学校を創立してほしいと要望されました。

～新米の作り方を教える学校～

「日本の古米を喜ばれるより、新米の作り方を教える学校」を実現するため、マリャ村にコンクリート造りの3教室1棟と職員宿舎、トイレ棟を建設、ミシン80台、パソコン100台、学用品、衣類等を送り11年2月に、160名の孤児達を迎え開校しました。

～職業訓練学校第2校等創立～

名古屋大学大学院のタンザニア人留学生の郷里、南部マサシ市の孤児達の為、職業訓練学校創立の要望に応え、13年第2校をコンクリート造りの色鮮やかな3教室2棟と職員室（図書室含む）、職員宿舎、トイレ棟を完成させ、6月に縫製科、コンピュータ科、建築木工科、農業科の開校式を行いました。同校では日本のオリーブ樹を移植して、農業科でオリーブ製品を造って、将来は地域の産業に発展させることを目指しています。同時進行で同市の生徒2000人に3教室と青空教室やトイレは男女各1のカンバラゲ小学校に「3教室とトイレ棟」を建設して市に寄贈して、青空教室を解消して同市一番の小学校にしました。

～コンテナの受難～

しかし、1月に名古屋港から送った第2校の教材用のミシン100台、パソコン120台、建築木工工具、農機具、学用品，衣類、机椅子を詰込んだ20フィートコンテナ3台に高額課税・加算税・付加価値税、更に法外な保管料等の強欲な要求をされて受取れず、現在も授業開始が1年以上も遅れ、見通しが立たず、その打開策に苦しんいます。ザンジバル島の第3校の予備のミシン・パソコンを船便の手荷物でダルエスサラーム港経由で上陸させる、マリャの第1校の予備の教材を移動する事も検討しています。

～ザンジバルに第3校創立～

東部ザンジバル島で、蟹江町出身の幸子夫妻が洋装店を経営しており、孤児・身障児たち救済の洋裁学校を創りたいと言う要望に応え、13年7月に完成した第3校に1月に20フィートコンテナ1台にミシン・パソコンや学用品、衣類や机椅子を詰めて送り、無税で受取り第二期生集めて開校する事ができました。
この学校は11年に届けた工業ミシン9台を使って、洋装店に間借りで仮開校の第一期生は1年勉強して、新米

を作る人に成長したMr.Hajiは卒業後就職して、今年２月には結婚しました。残念なのは、生まれたばかりの第１子を１ヶ月半で先月マラリアで亡くしました。哀しみを乗り越え前進してもらいたいと思います。

昨年12月13日のテレビ番組「世界の村で発見！こんなところに日本人」で、幸子さんと第３校が紹介されました。４月に発刊された「地球の歩き方・東アフリカ編」で、幸子さんと第３校が紹介されています。

～今後の活動～

同国で走っている自動車の 95%が日本車、その 90%はトヨタ車と言われ、日本と同じ左通行の街を移動しているときは、日本にいるような錯覚をします。

現地のNGOからは「自動車整備科」を早く創って欲しいと要望が来ています。

自動車メーカーの提携を模索しています。

今後は、コンテナ問題に抗議で、本土の学校建設支援は凍結していますが、ザンジバル島の第３校を拠点として、来年度は同島に小学校建設などの活動を高齢集団に一人でも多い会員を募り発展させて参ります。

新米の作れる自立を促す支援を強化して、これからも一人でも多い孤児達の笑顔を増やし続けます。

アサンテサーナ（ありがとうございます）写真説明

元気に歓迎する小学生たち

◇◇RI 第2760地区　2014-2015年度

第１回地区内クラブ社会奉仕委員長会議　報告◇◇

報告者：幹事代理　永井伸治（代理出席）

日時：2014年10月30日（木）　15：30～

会場：名鉄グランドホテル　11階　柏の間

神戸政治パストガバナーは点鐘に引き続き、挨拶の中で、「ロータリー手続要覧によると、ロータリーの社会奉仕は、ロータリアン一人ひとりが『超我の奉仕』を実証する機会であり、地域に住む人々の生活の質を高め、公共のために奉仕することは、すべてのロータリアン個人にとっても、またロータリークラブにとっても献身に値することであり、社会的責務でもある。言わば、『社会奉仕はロータリーの命綱』である。」と述べられました。

講演は、二題あり、一つ目は、あいち防災リーダー会相談役の早川澄男氏による「災害を知り、いかに備えるか」と題し、①繰り返し起きる災害、②如何に備えるか、③地域防災力の向上策は、④県下会員780名の愛知防災リーダー会の役割についての講演でした。二つ目は、愛知県環境部自然環境課長　陣内さゆり氏による「あいち生物多様性戦略2020」についての講演でした。「人と自然が共生するあいち」の実現を基本目標とし、愛知県下各所での生物多様性の損失を止めるための具体的な行動の展開を紹介されました。

会議途中、他の公務により遅参された近藤ガバナーは、「自身がクラブ会長を務めた2002-2003年度のクラブ事業で、熱田神宮内に蛍を放し、地域の子どもが家族連れで楽しんでいただいた。また、ロータリーの最初の社会奉仕事業は、1905年、シカゴの街中に公衆トイレを贈呈したことである。このように社会奉仕はロータリーにとって最も重要である。」と挨拶されました。